

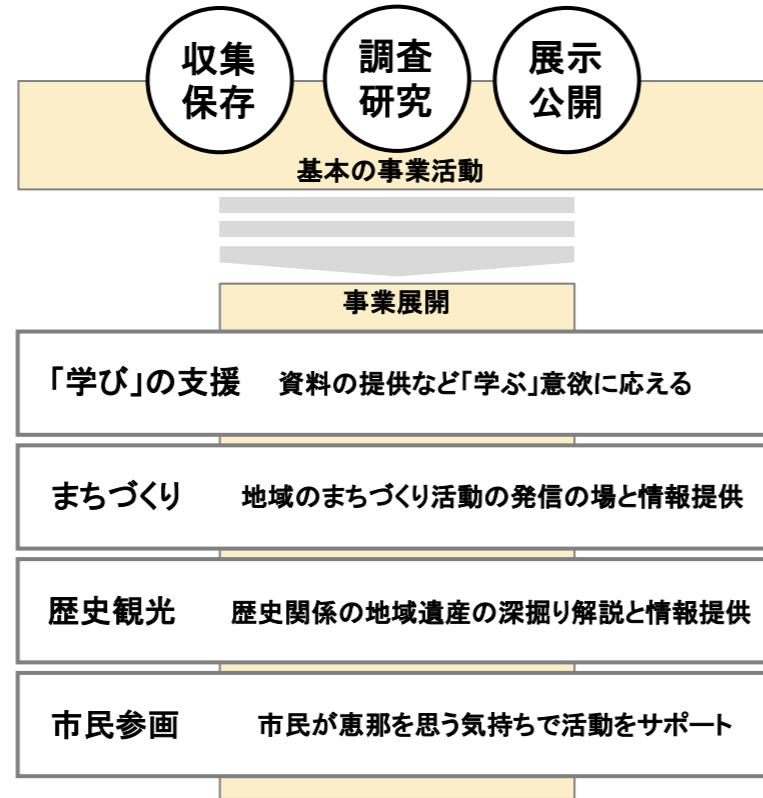
■新博物館の事業活動

事業活動の基本的な考え方

「恵み」を
未来へつなぐ

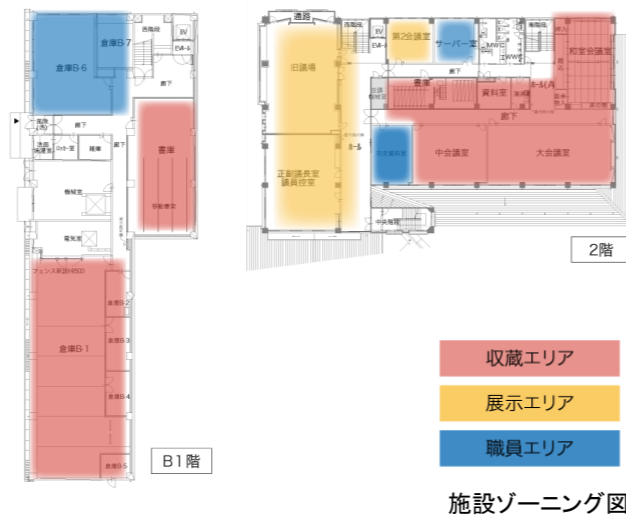
人々が恵那を思う気持ちを活動という形に変え、時間をかけてそれぞれの活動の一つひとつ積み重ねていくことによって、博物館の中だけにとどまらない恵那市全体の「恵み」を育て、未来につなげることを目指します。

事業活動の特徴



■施設整備計画

2階に収蔵庫、常設・企画展示室を集約します。地下1階は考古資料や民具の収蔵・整理スペースとし、全館で資料保存と展示・交流機能の向上を図ります。



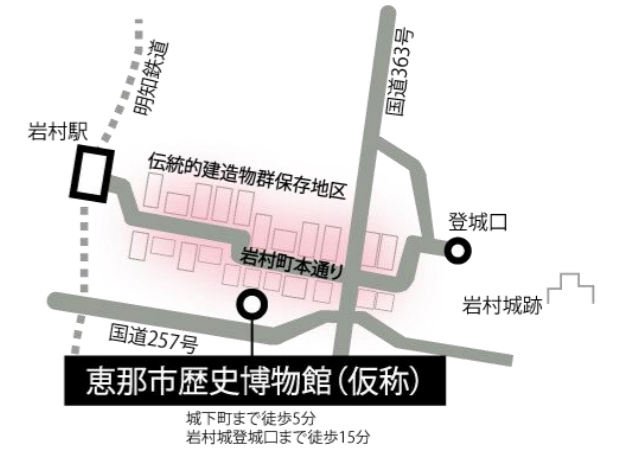
■整備スケジュール(予定)

令和11年4月のオープンを目指して、令和8～10年度に設計と工事を行い、同時進行で収蔵する資料の調査・整理・移動を進めていきます。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
改修設計	→			
改修工事		→		★4月開館
資料の移動等	→			

■計画予定地

予定地は、岩村町本通り伝統的建造物群保存地区に隣接し、岩村城登城口からも徒歩圏内の好立地に位置しています。施設内には、「佐藤一斎学びのひろば」と「恵那市中央図書館岩村分館」を併設しており、生涯学習の拠点と歴史観光が融合する場として、市民や来訪者が気軽に立ち寄れる環境が整っています。交通手段は、明知鉄道岩村駅から徒歩15分、中央自動車道恵那ICから車で20分と、徒歩・車いずれでもアクセスしやすい場所にあります。



計画予定地と周辺の関係性

■新博物館の考え方

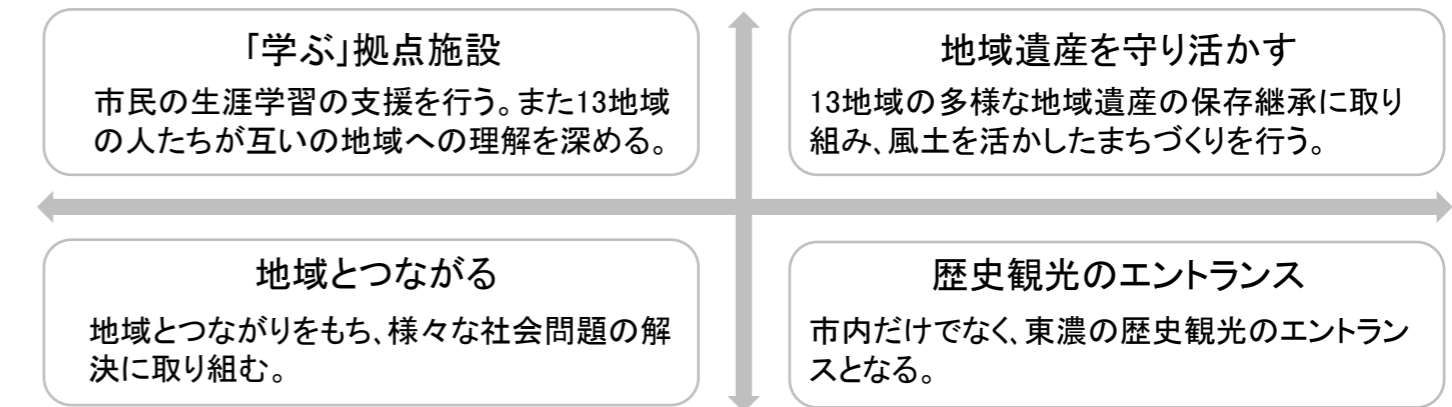
新博物館の理念

「恵那市新歴史資料館整備基本構想」の理念を引き継ぎ、改めて博物館のあるべき姿からみてその根幹であると捉えました。

地域をつなぎ、多様な歴史と文化を未来に活かす博物館

恵那市の特質は、13の地域が独自の風土(個性)を有することであり、市民がこれを学んで共有し、未来に継承していくことがこれからの市の発展の鍵である。

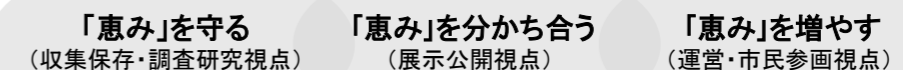
求められる方向性



博物館の使命(ミッション)

恵那市の文化的特徴や13地域それぞれの魅力を「恵み」の語に置き換え、これまで受け継がれてきた「恵み」をこれからも育んでいくことを使命とします。

博物館の使命
恵那の豊かで多様な「恵み」を育む



■ 展示計画

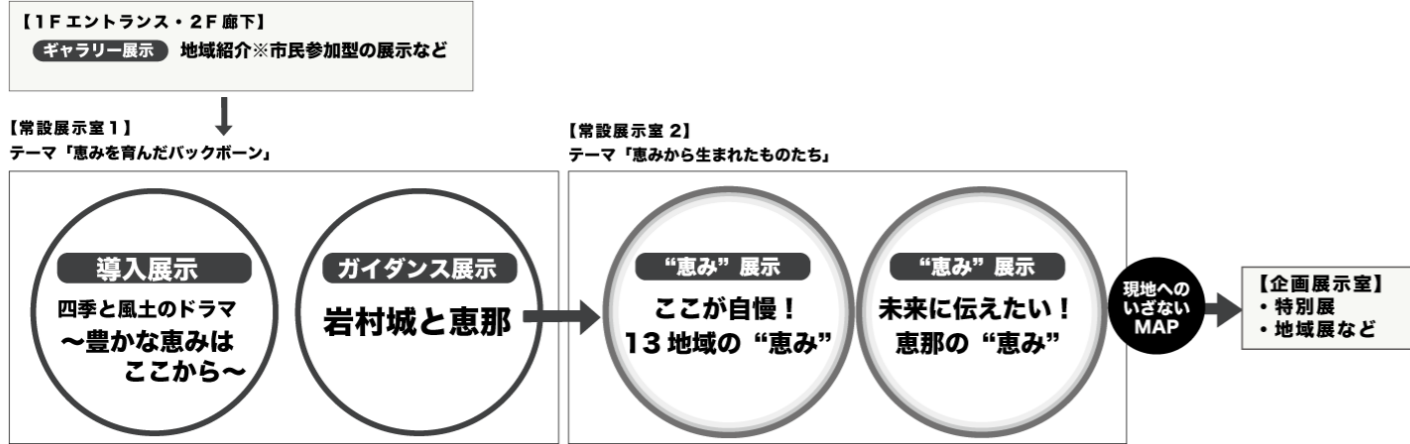
展示コンセプト

恵那の「恵み」を知る
～物語り・地域語り・人語りへのいざない～

恵那の「恵み」の多様性や成り立ちをどう伝えるか?その課題に対して、「恵みを育んだバックボーン」「恵みから生まれたものたち」のテーマで学ぶ2段階構成の構成とします。常設展示室1は、博物館の持つ岩村城と城下町へのビジターセンターを重視して、展示テーマを充実させます。常設展示室2と、2つの常設展示室を結ぶ廊下のギャラリー展示では、市民参加型の展示要素を加えることで、新たな切り口と展開にチャレンジします。



常設展示ストーリー案

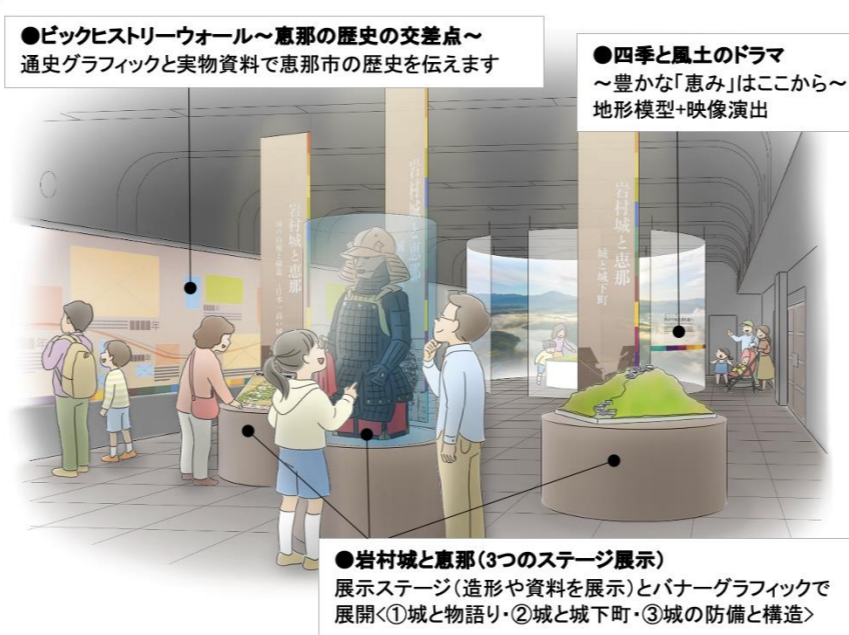


常設展示のイメージ

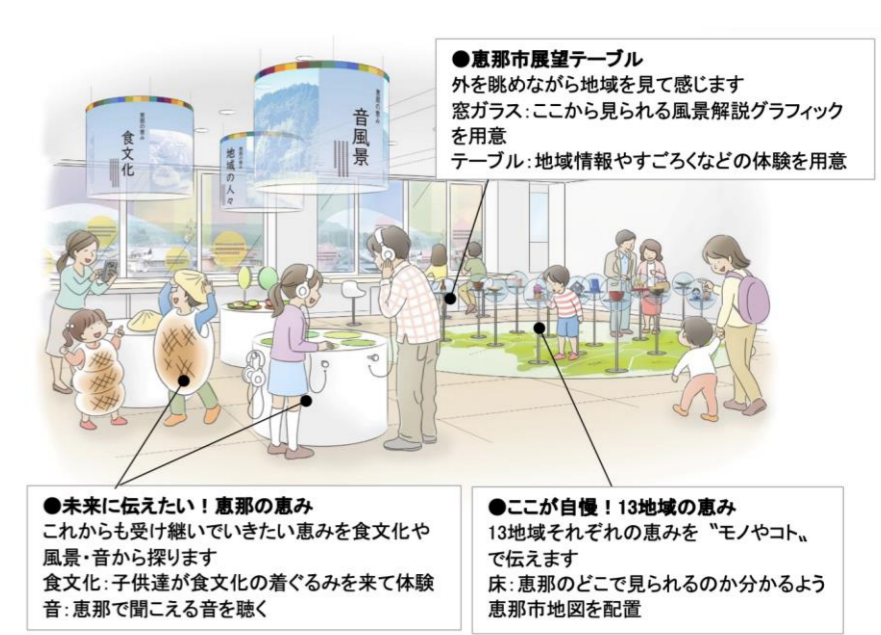
1F エントランス



2F 常設展示室1 「恵みを育んだバックボーン」



2F 常設展示室2 「恵みから生まれたものたち」



展示の種類

常設展

「恵那の恵み」のテーマ性を意識した内容とし、展示室の制約や動線も考慮しつつ検討を行いました(常設展示ストーリー案参照)。設計段階に向けては、展示更新の方針などを考慮し、企画展示との関係も視野に入れて検討を進めていきます。

企画展

以下の種類を想定し、年に3～4回開催。企画展や地域展に合わせた関連講座や地域関連イベントも実施します。

企画展・特別展

いわゆる企画展・特別展をイメージし、テーマを立てて他館からの借用も行う。

地域展「地域を学ぶ、地域に学ぶ」

13地域を取り上げ、地域との協働による展示を想定。

収蔵品展

上記の展示の合間に開催するミニ展示。

年間の展示スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常設展	常設展											
展示	地域展		収蔵品展				企画展(特別展)					地域展
												※次年度5月まで
講座・イベントなど							博物館講座					
	博物館外イベント						企画展関連講座					地域関連イベント
	フィールドワークなど(夏以外での開催)											

展示と講座・イベントなどのスケジュール案

年間を通して展示を行う常設展の中にも、展示を更新できる部分を設けます。近隣で開催されるイベントの来場者をターゲットとした展示や、前年度の運営状況を分析しテーマや年間スケジュールを計画するなど何度来館しても楽しめる博物館を目指します。